



現在地 [ホーム](#) > [組織からさがす](#) > [埋蔵文化財調査センター](#) > 活動報告

活動報告

ページID：0386590 掲載日：2023年4月26日更新

令和4年度普及・公開事業の紹介

美浜町立奥田小学校に「土器・ど・キット」の貸出を行いました

調査研究課の城ヶ谷です。

3月8日に美浜町立奥田小学校に「土器・ど・キット」と拓本道具の貸出を行いました。

「土器・ど・キット」とは、実際に遺跡から出土した縄文時代から江戸時代までの各時代の土器の破片をセットにしたもので、それぞれの土器を観察し時代順に並べることで、各時代の土器の特徴や発達過程等を学ぶことができる教育コンテンツです。

奥田小学校では、「土器・ど・キット」と拓本道具を活用した5年生と6年生の社会科特別授業が行われました。

授業を担当された榊原教頭先生は、「まだ歴史を学習していない5年生は見た目や手触りなど直感をもとに並べているのに対して、歴史を学習している6年生はこれまで学んできた歴史学習を振り返り、いろいろと分析しながら並び替えていました。それぞれタブレット型端末を活用して調べながら、グループで話し合い、熱心に取り組んでいました。」とおっしゃっていました。また、弥生土器を使った拓本採取にもチャレンジしていただきました。

同じ内容で教職員の現職教育も実施され、先生方にも好評であったとのことでした。

ガラス越しに見るのではなく、直に本物の土器に触れる体験は子どもたちに強いインパクトを与えるようです。

今回の体験が児童のみなさんの歴史学習に少しでも役立っていただければ幸いです。



最初に発掘現場の様子が写真で紹介されました タブレット型端末を活用しながら並び替えます



ひとつおり並べてみたけれど…



拓本に集中！

県立知立高等学校で出前授業を行いました

調査研究課の城ヶ谷です。

1月26日に県立知立高等学校で出前授業を行いました。

1年生「産業社会と人間」のなかで、「考古学入門～ものから歴史を考える～」というテーマで2時間、講義と演習を行いました。

前半は「考古学とは何？発掘調査はどのように行われるのか？」など、考古学の概要や発掘調査の実際についてお話ししました。また、土偶、石鏃、石斧、石包丁、弥生土器、土師器、須恵器といった教科書や図録等に登場する出土遺物を持参し、実際に手に取って見ていただきました。なかでも弥生土器の円窓付土器（まるまどつきどき）については全国的にも珍しく、今だに用途が解明されていません。生徒のみなさんにもどのように使うのか考えていただきました。

後半は考古学の基本である「土器（やきもの）」の発達過程についてお話ししました。古代・中世において全国的に流通した愛知県産のやきものの果たした役割については、郷土あいちの歴史の大きな特色であり、ぜひ知っておいていただきたいと思っています。

授業の終わりには講義の中で登場した縄文時代から江戸時代までの土器・陶磁器を実際に手に取って観察し、時代順に並び替える演習をおこなっていただきました。いざ実物を前にするとなかなか難しいようで、みなさんは手触りを確かめながら、遺物とにらめっこをしていました。

持参した遺物はほとんどが博物館や写真等で目にするものですが、手触りや重量感などは持ってみたいとわかりません。生徒のみなさんにも印象が深かったようでした。

今回の講座が生徒のみなさんに何らかのかたちでお役に立てれば幸いです。



考古学や土器の発達についての講義



さて、手にしている土器は何時代のものでしょうか？

あいち朝日遺跡ミュージアムへ遺物の貸出を行いました

調査研究課の城ヶ谷です。

1月13日にあいち朝日遺跡ミュージアムへ出土品の貸出を行いました。今回貸出したのは名古屋市断夫山古墳（だんぶさんこふん）出土埴輪、設楽町大崎遺跡（おおさきいせき）出土土器・石器です。

断夫山古墳は熱田神宮の北にある全長約150mの東海地域最大級の前方後円古墳です（国指定史跡）。時期は6世紀前半頃と推定されていますが、この時期においては継体天皇陵という説もある大阪府今城塚古墳（いましろづかこふん、全長約190m）に次ぐ全国屈指の規模とされています。被葬者は

宮簀媛（みやずひめ、ヤマトタケルの妻）とする伝説がある一方、尾張国造の尾張連草香（おわりのむらじくさか、継体天皇妃目子媛の父）とする説もあります。

これまで発掘調査は行われておらず、詳細はわかっていませんでしたが、2019年から愛知県と名古屋市が共同で**墳丘周囲の発掘調査**を実施しています。調査では**周溝が確認**され、**埴輪**や**須恵器**などの遺物が出土しました。



搬出時の大崎遺跡出土伊勢型鍋（鎌倉時代）



断夫山古墳出土埴輪（右側は家形埴輪）

今回お貸しした出土品は**令和5年3月12日（日曜日）**まで、清須市**あいち朝日遺跡ミュージアム**で開催されている企画展「**あいちの発掘調査2022-近年の発掘調査の概要-**」で展示されています。

この展覧会では、近年、県内各地で発掘調査された代表的な遺跡の出土品が展示されています。なかでも注目されるのは豊橋市にある**6世紀後葉の前方後円墳馬越長火塚古墳**（まごしながひづかこふん、国指定史跡）から出土した**金銅装馬具**（こんどうそうばぐ、重要文化財）です。**棘葉形杏葉**（きょくようがたぎょうよう）を始めとする馬具一式は当時の最高峰の技術でつくられた優品とされています。**ぜひご覧になってください。**



棘葉形杏葉（馬飾り）



十字形辻金具・半球形金銅製品

詳しくは[あいち朝日遺跡ミュージアムHPをご覧ください](#) ← [ここをクリック](#)

県立海翔高等学校で出前授業を行いました

調査研究課の城ヶ谷です。

1月20日に**県立海翔高等学校**で出前授業を行いました。

2年生普通科日本史授業のなかで、「**やきものから歴史を読み取る～ものづくり大国あいちの源流～**」というテーマで講義をしました。

縄文時代から近世に至るやきものの特徴とそのなかで**愛知県の果たした役割**などを概説しました。**愛知県**は古代・中世において**やきもの生産の中心地**として**全国各地に製品を流通**させていました。**発掘調査の事例や画像を用いて**、その状況を具体的にお話しました。

後半には、授業のなかで取り上げた縄文時代から江戸時代までの**土器・陶磁器を実際に手に取って観察し、時代を考**えてもらいました。時代を当てるのはなかなか難しかったと思いますが、**みなさんは一生懸命取り組んでいました。**

「実物を生で見られたのが強く印象に残った」「愛知県にはたくさん窯がある事に驚いた」「時代が経つごとに土器が進化していくことが面白く感じられた」などといった声が聞かれました。

今回の講座が生徒のみなさんに何らかのかたちでお役に立てれば幸いです。



あいちのやきものの歴史についての講義 土器・陶磁器を時代順に並びかえる演習

第35回埋蔵文化財調査研究会を開催しました

調査研究課の城ヶ谷です。

7月1日（金曜日）に愛知県陶磁美術館で第35回埋蔵文化財調査研究会を開催しました。

この研究会は県及び市町村及び県関係の埋蔵文化財担当者を対象に、前年度に県内で発掘調査された遺跡について、調査担当者から発表を聞き、研修を深めるとともに情報交換をおこなう研修会です。

例年、弥富市にある当センター研修室で開催しておりますが、今年度はセンターの大規模改修工事のため、愛知県陶磁美術館講堂をお借りして実施しました。

発表内容については以下の通りです。

- | | |
|------------------------|--------------------|
| (1) 名古屋市大高城跡の発掘調査成果 | (名古屋市教育委員会文化財保護室) |
| (2) 犬山市犬山城跡の発掘調査成果 | (犬山市教育委員会歴史まちづくり課) |
| (3) 安城市本證寺境内の発掘調査成果 | (安城市教育委員会文化振興課) |
| (4) 西尾市国森遺跡の発掘調査成果 | (西尾市教育委員会文化財課) |
| (5) 豊橋市深田古窯址群の発掘調査成果 | (豊橋市文化財センター) |
| (6) 設楽郡設楽町下延坂遺跡の発掘調査成果 | (公財・愛知県埋蔵文化財センター) |
| (7) 設楽郡設楽町大崎遺跡の発掘調査成果 | (公財・愛知県埋蔵文化財センター) |

調査の概要と注目される遺構・遺物などについて、発掘調査当時の苦労話なども交えながら、最新の情報をお話していただきました。

また、会場の一角では、土器を持ち寄っての意見交換も行われました。



報告者および研究会に参加していただいた担当者の皆様、お疲れ様でした。

今回の研修会が今後の埋蔵文化財保護行政推進の一助になれば幸いです。

武豊町立緑丘小学校で出前授業を行いました

調査研究課の城ヶ谷です。

5月17日と26日の2日間、武豊町立緑丘小学校で出前授業を行いました。

6年生社会科「大昔のくらしとくにの統一」の単元の最初、「**円窓付土器のなぞに迫れ！－狩猟・採集や農耕の生活－**」という小単元の1時間目と6時間目、2回にわたって授業に参加させていただきました。

両日とも**円窓付土器を持参**し、指導者の氏家拓也先生とともに、**円窓付土器が何に使われたのか**を6年生のみなさんと一緒に考えました。

1回目は歴史を習う最初の授業の時間ということでした。児童のみなさんは**実物の円窓付土器を間近に見て、とても興味深そう**でした。また、その使い方について、さまざまな発想で意見を出してくれました。

2回目の授業では、**しっかりとした調べ学習や話し合いを踏まえた上で、円窓付土器の使い方について、根拠を持って発表**されていました。円窓付土器の使い方を考える背景として、**弥生時代の社会や人々の生活に対する理解の深化**を感じました。

何かに興味を持って調べ、話し合い、発表し、他者の発表を聞いて自分の考えをまとめる。このような経験を重ねていくことが「**生きる力**」の醸成につながっていく。そんなことを感じさせる授業でした。



ユニークな意見も飛び出しました

班でまとめた意見を発表していただきました

歴史の学習において、実際の遺物を見るということは、**とても有効な手段**です。

出前授業のご希望がありましたら、ご連絡ください。

「古代の尾張・美濃をたずねて」のみなさんがご来館されました

調査研究課の城ヶ谷です。

5月12日、うみの道むなかた館長西谷正先生のご案内で「古代の尾張・美濃をたずねて」のみなさんが施設見学にられました。

展示中の「やとみ新発見展2022」「発掘された愛知の城」展をご案内しました。ほとんどが県外の方でしたが、みなさんとても熱心で、展示遺物等についてさまざま質問をいただきました。少しでも愛知の歴史への理解を深めていただければ幸いです。



なお、お知らせにも掲載しておりますが、当センターは今年度、大規模改修工事のため、6月1日（水曜日）から見学及び図書の利用を一旦停止します。再開は来年の4月になる予定です。

しばらくはご不自由をおかけしますが、よろしくお願いいたします。

あいち朝日遺跡ミュージアムへ出土品の貸出を行いました

調査研究課の城ヶ谷です。

4月26日**あいち朝日遺跡ミュージアム**へ出土品の貸出を行いました。今回貸出したのは稲沢市**一色青海**（いっしきあおかい）遺跡出土の**弥生土器・石器及び木製品**約80点です。

一色青海遺跡は、**弥生時代中期後葉、紀元前1世紀**を中心とする集落遺跡です。発掘調査で、主軸が17.6mもある**全国でも最大級の弥生時代の掘立柱**（ほったてばしら）建物が分かるなど、濃尾平野の拠点的な集落の一つと考えられています。

出土品も豊富ですが、注目されるのは**赤彩で鹿を描いた土製品**（写真右）です。高さ約9cmの筒形容器の側面に「ペンガラ」と呼ばれる酸化鉄が主成分の顔料で、**6頭の鹿が縦一列に鮮やかに描かれています**。弥生時代の土器・土製品で、鹿を線刻する例はたくさんありますが、**顔料で描いたものは福岡県に1例あるのみで、全国的にも極めて珍しいものです**。



今回お貸した出土品は**令和4年4月29日**から**6月26日**まで、清須市**あいち朝日遺跡ミュージアム**で開催される企画展「**一色青海遺跡－100年の弥生ムラ－**」で展示されています。**ぜひご覧になってください**。



搬出作業に取り組むあいち朝日ミュージアム学芸員



梱包を待つ台付細頸壺

〔本展示会は終了しました〕

春の特別公開2022を開催しました

調査研究課の城ヶ谷です。

今年も4月4日（月曜日）から4月15日（金曜日）まで、「**春の特別公開2022**」を開催しました。

今回は「**戦国期の祈りと呪（まじな）い**」というテーマで、戦国期を中心とした祈りと呪いに関わる遺物を展示しました。

同時に（公財）埋蔵文化財センターによる**春の埋文展「やとみ新発見展“2022”**も開催されました。

今回展示した**岩倉城遺跡出土「呪符木簡（じゅふもつかん）」**には「**□鬼急々如律令**」などと、陰陽師（おんみょうじ）らが災いや邪気を払う時に使う言葉や記号が記されています（□は判読不明）。

戦国期には**度重なる戦乱**や**自然災害、疫病の蔓延**などで、人々は不安に包まれていたと思われます。

「**□鬼（災い）よ、早々に退散しろ！**」という強い願いが込められているものと思います。

文明の進んだ現代においても、**新型コロナウイルス感染症の蔓延が収まりません**。呪符木簡の如く「**新型コロナウイルス鬼**」は律令に従い、**急々に立ち去れ**と願って止みません。



展示風景



岩倉城跡出土呪符木簡



熱心にご覧いただきました



岩倉城跡出土木簡等の展示



清洲城下町遺跡出土狛犬の展示



火起こし体験！がんばれ！！

また、4月9日・10日（土・日曜日）には**特別開館**を行い、**火起こし体験**をしていただきました。皆さん**真剣にまた楽しそうに取り組んで**いただけました。

たくさんのご来場ありがとうございました。

[Tweet](#)

[LINEで送る](#)



[このホームページについて](#)

[個人情報の取扱い](#)

[免責事項・リンク](#)

[RSS配信](#)

愛知県

法人番号1000020230006

〒460-8501 名古屋市中区三の丸三丁目1番2号

Tel : 052-961-2111（代表）

開庁時間：午前8時45分から午後5時30分

（土曜・日曜日・祝日・12月29日から1月3日を除く）

※開庁時間の異なる組織・施設があります。

[県機関への連絡先一覧](#)

[県庁へのアクセス](#)

Copyright Aichi Prefecture. All Rights Reserved.